

はじめに

情報社会学会会員の皆様

情報社会学会誌 Vol12, No1 をお届けいたします。

本号では、7本の原著論文、2本の研究ノートを掲載いたします。いずれも、萌芽性、新規性、さらなる研究への期待があり、情報社会学への貢献は大きいと考えます。

原著論文「世界システムにおける近代人像の変化：情報社会学と社会思想」は、17世紀以降の近代社会思想史をダイナミックに考察し、近代人の世界認識において神学的基礎付けから科学的へと変化する態様と、一貫して横たわる理性と存在の同一性問題を明らかにした上で、S字曲線と整合化させた本論文の情報社会学における貢献度は高い論文です。

原著論文「大規模イベントにおける位置情報型ARの活用実験とアクセスログによる利用者の複合的行動分析手法の提案」は、御柱祭という地域イベントでの調査を実施し、エアタグの有効性や分析方法の新規性は評価できます。また、UI設計における高齢者視点の必要性など社会に有益と思われるインプリケーション記述も見受けられる論文です。

原著論文「多面プラットフォーム間の水平差別化条件の研究」は、スマートフォン市場において、iOSプラットフォームが低い市場シェアにも関わらず大きな利益シェアを獲得している現象について、競争ポジションおよび市場構造により一人勝ちの成立条件が破れるかについて考察することで、この現象の背景を明らかにしようとした論文です。

原著論文「クラウド協調空間におけるマルチレイヤコミュニケーションの活用についてー感性コミュニケーション観点からのコミュニケーション効率化研究ー」は、非常に定量化が難しいコミュニケーション効率の評価をファジー理論で定式化するというユニークな論文です。

原著論文「ソーシャルネットワークを活性化する『聞き役』ユーザの発見」は、聞き役ユーザの存在がコミュニティの活性化、すなわち、リプライによって形成されるコミュニティの成長に果たす役割を明らかにし、ツイッターの利用を開始した新規ユーザに対して聞き役ユーザが関わることで、新規ユーザのその後の投稿活動に影響が出るかを実践的に解明しています。詳細な実験と観測によって、SNSの成長の特徴と要因を分析した論文です。

原著論文「オンライン・オフラインにおける名乗りと「本名」～戸籍姓・生来の姓・家族の姓」は、戸籍姓、旧姓という観点での名乗りに関する一連研究に加え「本名」についての「名乗りの文脈」という枠組みから分析を加えることを目的に、Webアンケートを施し分析している論文です。

原著論文「変革型リーダーシップ、社会関係資本、チーム効力感のチームパフォーマンスモデルー性別、チームサイズの観点からー」は、変革型リーダーシップ、社会関係資本、チームパフォーマンスの関係に対して、性別およびチームサイズが及ぼす影響について検証をしたユニークな論文です。

研究ノート「地方都市の特性を活かした高齢者外出サポートサービスのビジネスモデルの評価とICTシステムの構築」は、地方都市の問題にICTシステムを用いた解決の方向性、有効性を検証した論文です。今後、システムを構築し実証的な研究に期待をしています。

研究ノート「ブリッジング・リーダーシップ研究におけるモデル構築と検証」は、情報社会において求められる新なるリーダーシップ（ブリッジング・リーダーシップ）の有効性に関してモデル構築とその検証をおこなった論文です。今後のさらなる研究に期待します。

多くの研究が投稿され、多岐にわたる研究分野の成果が報告されました。今後のさらなる研究の発展に期待します。今後も会員皆様の積極的な研究活動に期待すると同時に、情報社会学に関する多彩なご投稿をお待ちしています。

2017年7月29日

情報社会学会
会長・編集委員長
大橋 正和